

「＜あなたの投資信託選びは大丈夫ですか？＞」



○満足いく投資成果は得られていますか？

「人気ランキングの上位だから安心」「インデックスファンドは手数料が安い」「分散投資していれば大丈夫」など、世間でよく言われる「投資信託の良い選び方」をしたにも関わらず、ここ最近の株式市場の乱高下で、「時価を確認するのも怖くて仕方がない」という方も多いのではないのでしょうか。

実際、間違った投資信託選びで、市場が活況な中でも損失を被ったり、まったく資産が増えない、そんな投資家も多いのは事実です。

○あなたの投資信託選び、本当に大丈夫ですか？

こうした投資家が多い理由には、3つの間違った投資信託選びを行っている点を挙げることができます。その3つとは、①人気のテーマ型投資信託、②分配型投資信託、③フル投資型投資信託を選ぶことです。

① 人気のテーマ型投資信託

まず1つ目の間違った投資信託の選び方として、①人気のテーマ型投資信託を選んでしまう点が挙げられます。これは、その時々の人気のテーマを投資対象とする投資信託を購入することであり、その時々ホットな話題への投資であることから、投資家も飛びつきやすく投資しやすいといえます。

しかしながら、旬があるということは、その旬が終わればいつか人気なくなる可能性があります。過去を見てみるとわかるように、一時期 BRICs ともてはやされた中国やブラジル、ロシアの株式市場は現在では冴えない状況であり、当時人気国として注目を集めていた国々は散々な状況です。

② 配型投資信託

次に、②分配型投資信託を選ぶこと。特に毎月分配型投信は、毎月分配金が出るため人気がありますが、その商品の仕組みを理解せずに購入されている方が多い点が問題といえます。

日本の分配型投信では、投資する株式や債券などの配当、利子のみをもとに分配金が支払われているわけではありません。投資家の純資産、つまり元本を削って分配金を支払うことが可能になっているのです。実は人気がある投資信託ほど、純資産からの支払い率、平たく言えば元本の削り率が高い投資信託としてランキング上位を占めています。

ご自身が購入した時よりも価格が高くなっていけば、いわゆるタコが自分の足を食べるかのようなタコ足配当型の投資信託の形にはなりにくいといえますが、実際はタコ足配当となるケースも多く、これでは何のために投資を行っているのかわからなくなります。

③ フル投資型投資信託

投資信託の間違った選び方3つ目として、③フル投資型投資信託を選ぶ点が挙げられます。

フル投資型投資信託は、個人投資家にとっては盲点となっており、ほとんどの人が知らないと思いますが非常に重要なポイントです。

フル投資型とは、運用する資金のほとんどを相場が悪い時でも、株式などの金融商品に投資をする投資信託をさします。もし投資家から集めた資金をすべて株式に投資していたら、金融危機時にはどうなるでしょうか。金融危機など突発的な悪材料には、ほとんどの株価が大幅に下落することになり、それにともないフル投資型の投資信託は大幅に下落することになります。

これでは買い時・売り時をみすみす逃していることになってしまいます。購入時には、投資信託説明書（目論見書）などで運用方針を確認してください。

>>更に資産運用に関する情報を見られたい方はこちら。

<http://www.nichizei.com/fpforum.html>

<著者プロフィール>

福田 猛

ファイナンシャルスタンダード株式会社 代表取締役

大手証券会社入社後、10年間、1,000人以上の資産運用コンサルティングを経験。2012年IFA法人であるファイナンシャルスタンダード株式会社を設立。独立系資産運用アドバイザーとして数多くのセミナーを主催し、幅広い年齢層の顧客から支持を受け活躍中。

著書に「金融機関が教えてくれない 本当にお金を儲けるべき投資信託」(幻冬舎)がある。

2015年楽天証券IFAサミットにて独立系ファイナンシャルアドバイザーで総合1位を受賞。

参考

経済金融情報メディア「F-Style」: <https://fstandard.co.jp/column/>

“F-Style”とは？

人々のくらしと密接に関わる「お金のヒミツや仕組み」を、より分かりやすくお伝えする経済金融メディアです。